

平成29年度 東山総合支援学校 学校評価アンケート(前期)集計結果

平成29年10月23日

教職員	回答 40/46				保護者	回答 94/103				生徒	回答 102/103			
	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1 生徒や保護者に短期目標や評価について、伝えている	52.5%	40.0%	7.5%	0.0%	1 短期目標や評価について、学校は保護者に伝えている	42.4%	47.8%	9.8%	0.0%	1 今、現在の自分の目標がわかっている	62.7%	24.5%	9.8%	2.9%
2 生徒は自己目標にむかって学習に取り組んでいる	35.0%	57.5%	5.0%	2.5%	2 子どもは目標にむかって学習に取り組んでいる	29.8%	57.4%	11.7%	1.1%	2 目標にむかって学習に取り組んでいる	58.8%	27.5%	10.8%	2.9%
3 生徒は満足感や達成感をもち、専門教科(地域協働)の学習に取り組んでいる	47.5%	50.0%	2.5%	0.0%	3 子どもは専門教科(地域協働活動)の授業に、満足感や達成感を感じている	26.6%	59.6%	11.7%	2.1%	3 専門教科(地域共同活動)の授業で、「できた」「うれしかった」ことがある	65.7%	25.5%	6.9%	2.0%
4 生徒は満足感や達成感をもち、共通教科の学習に取り組んでいる	25.0%	55.0%	17.5%	2.5%	4 子どもは共通教科の授業に、満足感や達成感を感じている	21.3%	60.6%	17.0%	1.1%	4 共通教科の授業で、「できた」「うれしかった」ことがある	56.9%	32.4%	8.8%	2.0%
5 生徒は満足感や達成感をもち、職場等実習に取り組んでいる	57.5%	40.0%	2.5%	0.0%	5 子どもは職場等の実習に満足感や達成感を感じている	37.6%	51.6%	9.7%	1.1%	5 職場での実習で、「できた」「うれしかった」ことがある	60.8%	26.5%	9.8%	2.9%
6 生徒が一生涯懸命に取り組める活動を用意している	40.0%	55.0%	2.5%	2.5%	6 子どもは一生涯懸命に学習に取り組んでいる	35.1%	52.1%	9.6%	3.2%	6 一生涯懸命に学習に取り組んでいる	65.7%	26.5%	7.8%	0.0%
7 生徒の得意なことを把握している	50.0%	47.5%	2.5%	0.0%	7 子どもは自分の得意なことに気づいている	19.4%	52.7%	26.9%	1.1%	7 自分の得意なことがよくわかっている	63.4%	25.7%	8.9%	2.0%
8 生徒に働く意欲や働くのに必要な姿勢や態度が育ってきている	22.5%	62.5%	15.0%	0.0%	8 子どもに働く意欲や働くのに必要な姿勢や態度が育ってきた	28.7%	54.3%	14.9%	2.1%	8 働くことに必要な意欲・姿勢・態度が身についてきた	45.1%	42.2%	9.8%	2.9%
9 教員はキャリアプランに基づいて計画的な指導や支援を行っている	22.5%	57.5%	15.0%	5.0%	9 子どもは目標や学習計画に基づく計画的な指導や支援がなされている	31.9%	54.3%	10.6%	3.2%	9 先生は何のために勉強するのかをわかりやすく教えてくれる	53.9%	41.2%	2.0%	2.9%
# 生徒の努力や達成度について評価し、プランの作成や指導法の改良に活かしている	35.0%	50.0%	12.5%	2.5%	# 子どもは努力や達成度について、評価がなされている	31.2%	61.3%	4.3%	3.2%	# 先生は学習の成果について、伝えてくれる	57.4%	34.7%	4.0%	4.0%
# 生徒は友達や仲間を大切に、互いに協力している	37.5%	52.5%	10.0%	0.0%	# 子どもは友達や仲間を大切に、互いに協力している	35.1%	57.4%	7.4%	0.0%	# 友達や仲間を大切に、互いに協力している	66.7%	25.5%	4.9%	2.9%
# 生徒が誰かの役に立ちたいという思いを促す活動を用意している	45.0%	50.0%	5.0%	0.0%	# 子どもには誰かの役に立っていると思う学習がある	26.9%	57.0%	15.1%	1.1%	# 自分は誰かの役に立っていると思う	35.3%	43.1%	12.7%	8.8%
# 生徒のことを理解できている	22.5%	70.0%	7.5%	0.0%	# 子どものことを理解できている	16.0%	72.3%	8.5%	3.2%	# 自分のことを理解してくれる人がいる	63.7%	25.5%	6.9%	3.9%
# 生徒は自分から積極的に挨拶をしている	20.0%	32.5%	40.0%	7.5%	# 子どもは自分から積極的に挨拶をしている	31.2%	46.2%	19.4%	3.2%	# 自分から元気よく挨拶ができる	51.0%	30.4%	13.7%	4.9%
# 生徒が適切な食生活を送れるよう指導している	25.0%	55.0%	15.0%	5.0%	# 子どもは朝ご飯を食べている	65.6%	21.5%	9.7%	3.2%	# 朝ご飯を食べている	63.7%	16.7%	12.7%	6.9%
# 生徒に衛生に関する指導や支援を行っている	45.0%	42.5%	12.5%	0.0%	# 子どもには日常的に清潔にするように促している	55.3%	39.4%	4.3%	1.1%	# 清潔にしている(例えば、入浴・着替え・歯磨きなど)	70.3%	25.7%	3.0%	1.0%
# 生徒に学校のきまりや約束を守るよう指導している	67.5%	30.0%	2.5%	0.0%	# 子どもは学校や家庭でのきまりや約束守ることは大切なことと思っている	47.9%	40.4%	8.5%	3.2%	# (学校や家庭での)きまりや約束守ることは大切である	67.6%	25.5%	4.9%	2.0%
# 生徒は学校のきまりや約束を守って学校生活を送っている	22.5%	67.5%	7.5%	2.5%	# 子どもは学校や家庭でのきまりや約束を守っている	26.6%	56.4%	12.8%	4.3%	# (学校や家庭での)きまりや約束を守っている	60.8%	29.4%	8.8%	1.0%
# 生徒に家庭内で決まった役割を担うよう促している	55.0%	37.5%	7.5%	0.0%	# 子どもには家庭で決まった役割があり、実行している	37.0%	37.0%	22.8%	3.3%	# 家庭で決まった役割(例えば、お手伝い)があり、実行している	55.4%	28.7%	9.9%	5.9%
# 企業との連携・協働による学習環境が設定できている(職場実習など)	55.0%	42.5%	2.5%	0.0%	# 企業との連携・協働による学習環境が設定できている(職場実習など)	38.0%	56.5%	5.4%	0.0%	# 企業の協力や理解があり、職場実習などができていることに感謝している	70.6%	26.5%	2.9%	0.0%
# 地域との連携・協働による学習環境が設定できている(専門教科や地域行事など)	67.5%	30.0%	2.5%	0.0%	# 地域との連携・協働による学習環境が設定できている(専門教科や地域行事など)	37.2%	54.3%	8.5%	0.0%	# 地域の協力や理解があり、地域との活動ができていることに感謝している	68.6%	24.5%	4.9%	2.0%
# 生徒や保護者からの個別の相談について対応している	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	# 個別の相談について、学校は保護者に対応している	43.6%	50.0%	6.4%	0.0%	【生徒】 ①約85%の生徒が、目標を理解し、それに向けて一生涯懸命に学習に取り組んでいるとしている。(1,2,6) 教員からの適切な意味付けがなされている。(9) ②約90%の生徒が、学習や実習を通じてできた、うれしかったことがある(3,4,5)企業や地域の協力や理解してもらっている(20,21)と答えている。教員からの成果を受け、役に立っているとの思いがある。(12) ③約90%の生徒が働くことに必要な意欲・姿勢等が身についてきた、自分には良いところとしている。(7,8) ④約90%の生徒が、決まりを守ることは大切であり実際に守っているとしている。(17,18)				
# 生徒、保護者、地域、企業等に本校の教育の趣旨や目的を理解できるよう伝えている	50.0%	47.5%	2.5%	0.0%	# 保護者として学校の教育の趣旨や目的を理解している	29.8%	66.0%	4.3%	0.0%					
【教職員】 ①約20%の教職員がキャリアプランに基づく指導や支援(9,10)に課題を感じている。 ②約20%の教職員が共通教科から生徒が達成感などを得られていないとしている。(4) ③約50%の教職員が生徒は積極的に挨拶していないとしている。(14)					【保護者】 約90%の保護者が教育実践に対して一定評価している。(1,2,3,5,6,9,10,22,23)共通教科や生徒自身が自分の得意への気づき、働く意欲や姿勢に関しては、改善の余地があるとしている。(4,7,8)									

【3者のまとめ】
 ①生徒が目標をもって学習に取り組んでいることを、3者とも肯定的な回答をしている。専門教科や職場などの実習に関する取組には、3者の約90%が生徒に満足感や達成感を持っていると肯定的な回答をしている。共通教科に関しては肯定的な回答が他に比べてポイントが低く、専門教科との関連性を明確にし、生徒の意欲や主体性を引き出す工夫等がある。(今年度の研究の一つ)
 ②企業での職場など実習での成果は3者とも肯定的な回答をしている。生徒の働く意欲・姿勢・態度の育成と友達や仲間を大切に、互いに協力することや誰かの役に立っていることの実感に若干まだつながっていない。
 ③家庭生活に関連する項目(食、衛生、家庭での役割)については、保護者との連携していく。